

推薦の言葉②

第1回全日本ポーカー選手権（AJPC）がきっかけでテキサスホールデムを始めた私だが、それ以来年間20回ほどの海外カジノ遠征では、毎日必ずといっていいほどポーカーテーブルに座るぐらい夢中になってしまった。

ただ、日本ではポーカーの教材が少ないのにはまいった。海外の書店にポーカー関連の本を探しに何度か出かけたことか。当然のことながら外国語で書かれたものばかり。十分な理解ができるとも思えず、買うのは断念していた。

そんな私にとっては、うってつけの本が出版された。第1回全日本ポーカー選手権（AJPC）でトーナメントディレクターを務めた渡邊元さんがポーカーの入門書を出したのだ。

基本的なルールや用語から始まり、ハンドのランキング、勝利確率、オッズの計算という確率の分野や、ポジションによる打ち方といった戦略的なことまで、いままで知りたかったことが1冊の本になっているのだ。

それも、初級者のれむに質問、説明を繰り返し、教えるという形をとっているので、とても解りやすくなっている。麻雀プロを目指しているというれむが、ドローのことを両面待ち、テンパイといった麻雀用語使ったりするのも、私には実にほほ笑ましく、親しみやすい本になっている。

これからホールデムを始めてみようと思っている人には、ピッタリの1冊だと思う。

金子 正輝

金子正輝(かねこ・まさてる)

最高位戦日本プロ麻雀協会副代表。名人位・最高位など、麻雀界のタイトルを多数獲得。なお、日本麻雀最高位決定戦進出通算19回の新記録をもち、現在も更新中である。